

2021年度 入学試験問題

数 学

(60分)

〔注意〕

-
- ① 問題は①～④まであります。
 - ② 解答用紙はこの問題冊子の間にはさんであります。
 - ③ 解答用紙には受験番号と氏名を必ず記入のこと。
 - ④ 各問題とも解答は解答用紙の所定のところへ記入のこと。
-

西大和学園高等学校

1

次の各問いに答えよ。

(1) x の 2 次方程式 $x^2 - 3x - 5 = 0$ の 2 つの解を a, b とする。

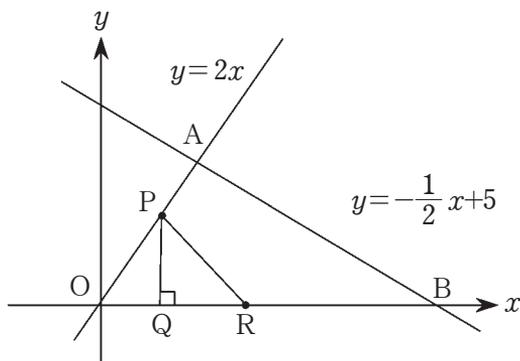
このとき、 $a^2 + b^2 - 3a - 3b + 1$ の値を求めよ。

(2) x, y についての連立方程式 $\begin{cases} \frac{4}{x} + \frac{3}{2y} = 2 \\ \frac{8}{x} - \frac{1}{y} = \frac{10}{3} \end{cases}$ を解け。

(3) 大, 中, 小 3 個のさいころを同時に投げる。大のさいころの目を a , 中のさいころの目を b , 小のさいころの目を c とし, a を百の位, b を十の位, c を一の位としてできた 3 けたの数を X とする。 X が 6 の倍数でない確率を求めよ。

(4) 右の図のように, 直線 $y = -\frac{1}{2}x + 5$ と直線 $y = 2x$ との交点を A , x 軸との交点を B とする。

点 P は, O を出発し, 直線 $y = 2x$ のグラフ上を O から A まで動き, 次に直線 $y = -\frac{1}{2}x + 5$ のグラフ上を A から B まで動く。 P から x 軸に引いた垂線と x 軸との交点を Q とし, $PQ = QR$ となる



点 R を, x 軸上に Q の右側にとる。 $\triangle ORP$ の面積が 9 となる P の x 座標をすべて求めよ。

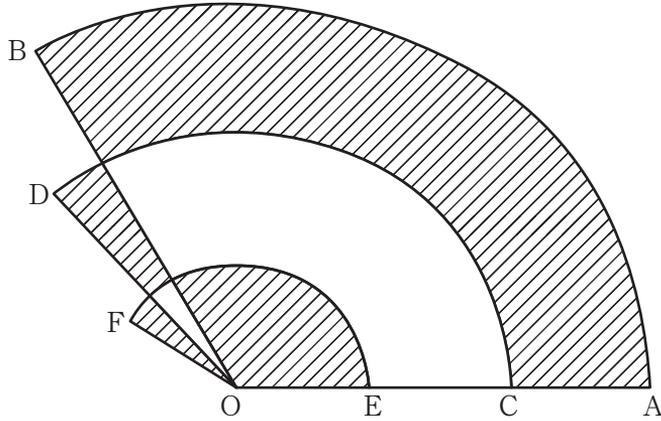
(5) a は 50 以下の素数とする。 \sqrt{a} の整数部分を b とし, 小数部分を c とするとき, $(\sqrt{a} + b)c = 4$ が成り立つ。この式をみたす a の値をすべて求めよ。

ただし, ある正の数 x に対して, $n \leq x < n + 1$ をみたす整数 n を x の整数部分といい, $x - n$ を x の小数部分という。

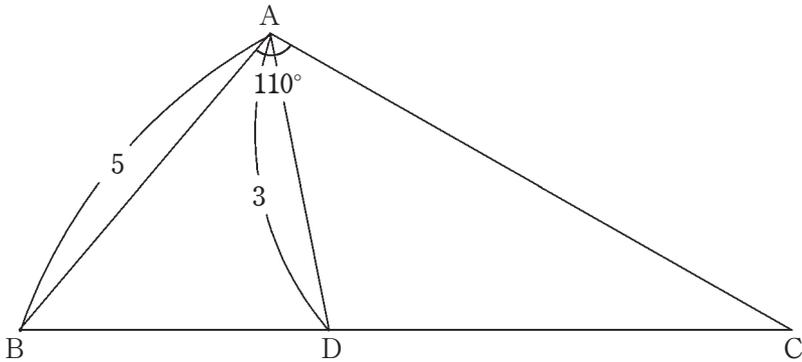
2

次の各問いに答えよ。

- (1) 下の図のように、半径 3、中心角 120° の扇形 OAB と、半径 2、中心角 135° の扇形 OCD と、半径 1、中心角 150° の扇形 OEF がある。図の斜線部分の面積を求めよ。ただし、点 C 、 E は、 OA 上にあるものとする。

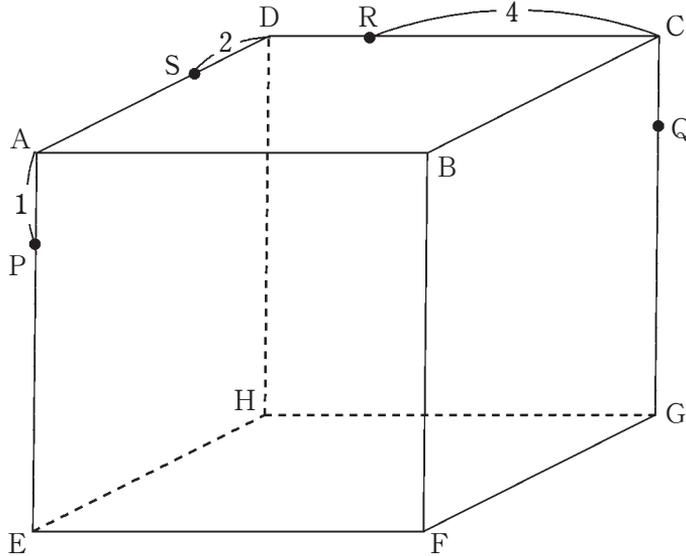


- (2) 下の図のように、 $AB=5$ 、 $\angle BAC=110^\circ$ の $\triangle ABC$ がある。辺 BC 上に $\angle BAD=40^\circ$ となるように点 D をとると、 $AD=3$ となった。 $BD:DC$ を求めよ。

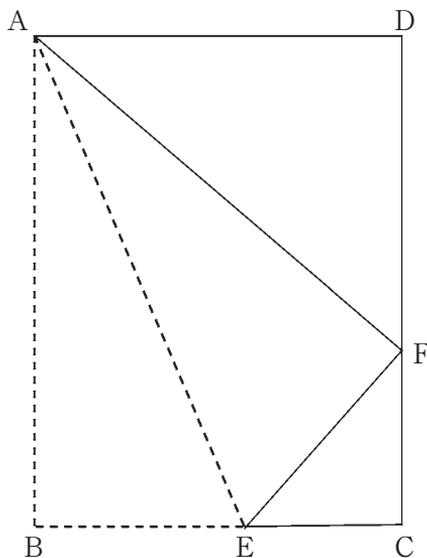


(3) 下の図のように、1辺の長さが5の立方体 $ABCD-EFGH$ がある。

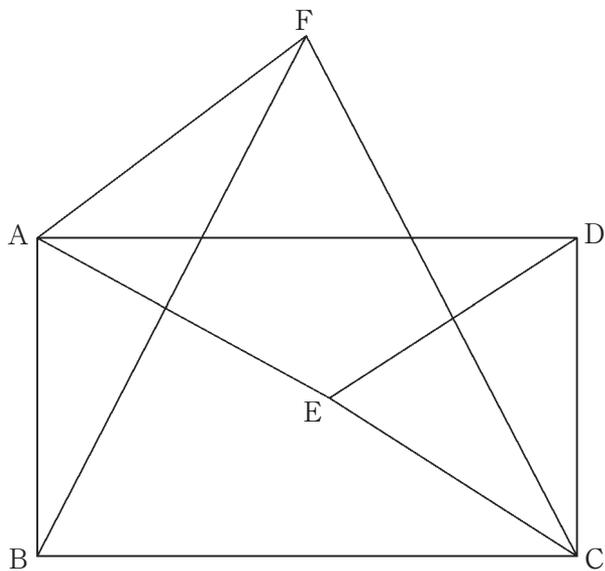
点 P を辺 AE 上に $AP=1$ ，点 R を辺 CD 上に $CR=4$ ，点 S を辺 DA 上に $DS=2$ となるようにとる。この立方体を3点 P, S, R を通る平面で切断したとき，この平面と辺 CG との交点を Q とする。 CQ の長さを求めよ。



(4) 下の図のような，長方形 $ABCD$ がある。頂点 B がちょうど辺 CD 上に重なるように，線分 AE を折り目としてこの長方形を折り返したところ，頂点 B は， $CF:FD=1:2$ となる点 F に重なった。



- (5) 下の図のように、長方形 ABCD の辺 BC と辺 CD を 1 辺とする正三角形 BCF, 正三角形 CDE をそれぞれつくる。このとき, $AF = AE$ であることを証明せよ。

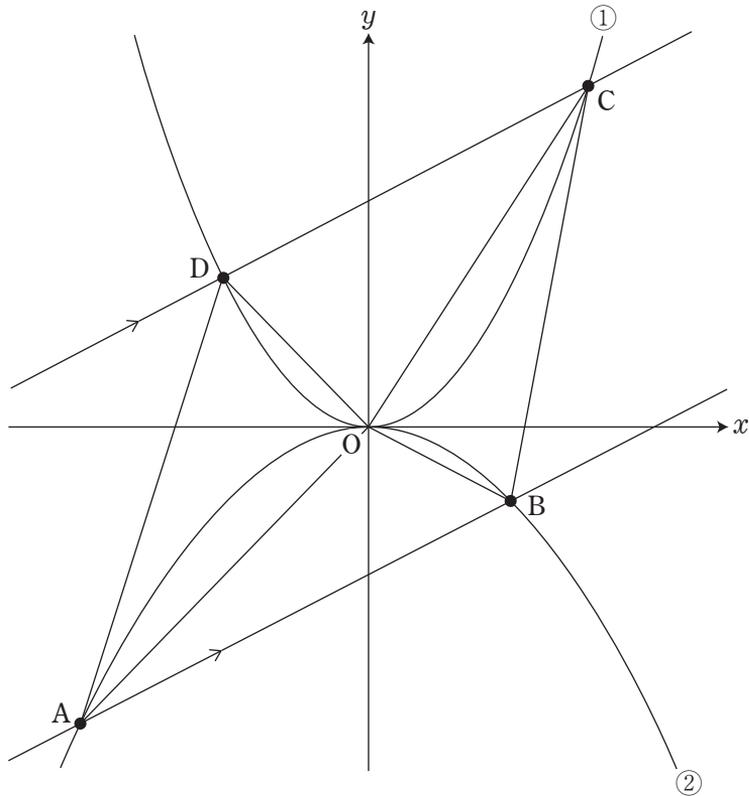


3

下の図のように、2つの放物線

$$y = x^2 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad y = ax^2 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

と、平行な2直線 DC, AB がそれぞれ交わっている。A の x 座標は -4 , B の座標は $(2, -2)$, D の x 座標は -2 である。次の各問いに答えよ。

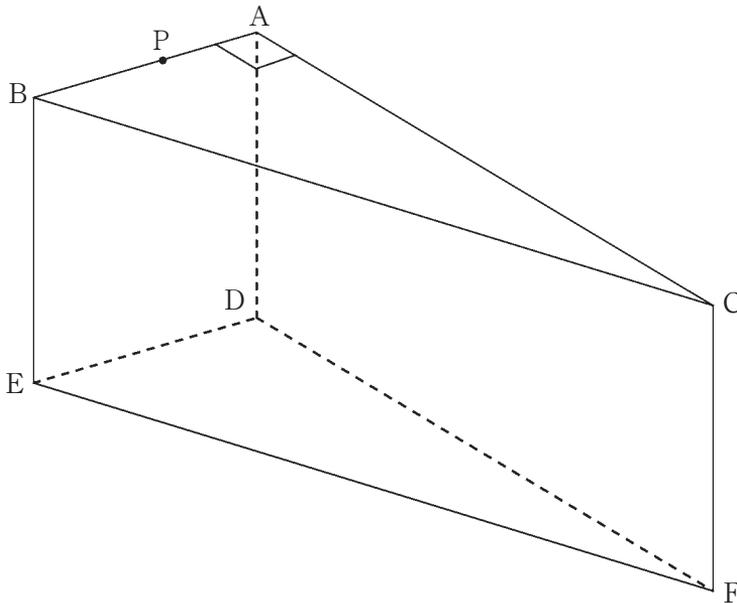


- (1) a の値を求めよ。
- (2) 直線 AB の式を求めよ。
- (3) $\triangle OAB$ と $\triangle OCD$ の面積比 $\triangle OAB : \triangle OCD$ を求めよ。
- (4) C を通る直線が四角形 ABCD の面積を 2 等分する。この直線の式を求めよ。

4

下の図のように、三角柱 $ABC - DEF$ がある。側面はすべて長方形であり、 $\triangle ABC$ は、 $AB = 5$ 、 $BC = 13$ 、 $CA = 12$ の直角三角形であり、 $AD = 5$ である。次の各問いに答えよ。

- (1) 三角柱 $ABC - DEF$ の体積を求めよ。
- (2) 三角柱 $ABC - DEF$ において、辺 AB とねじれの位置にある辺をすべて答えよ。
 辺 AB 上の点 P を通り、面 $BEFC$ に平行な平面でこの三角柱を切断する。
 このときの切断面を $PQRS$ とすると、切断面 $PQRS$ は正方形となったという。
 ただし、点 Q 、 R 、 S は、辺 DE 上、辺 DF 上、辺 AC 上にそれぞれあるものとする。
- (3) 線分 AS の長さを求めよ。
- (4) 三角柱 $ABC - DEF$ から三角柱 $APS - DQR$ を取り除いた立体 $PBCS - QEFR$ の体積を求めよ。
- (5) 辺 BC 上の点 X を通り、面 $BEQP$ に平行な平面でこの立体 $PBCS - QEFR$ を切断する。このときの切断した2つの立体の体積が等しくなったという。線分 BX の長さを求めよ。



数学解答用紙

受験番号	氏名

※の欄には何も書かないこと。

1	(1)	(2)	※	
		$x =$, $y =$		
	(3)	(4)		
		$x =$		
	(5)			
	$a =$			
2	(1)	(2)	※	
		BD : DC = :		
	(3)	(4)		
		倍		
	(5)			
3	(1)	(2)	※	
	$a =$			
	(3)	(4)		
	$\triangle OAB : \triangle OCD =$:			
4	(1)		※	
	(2)			
	(3)	(4)		(5)

※

数学訂正

5 ページ 2

誤

(4)

下の図のような，長方形 ABCD がある。頂点 B がちょうど辺 CD 上に重なるように，線分 AE を折り目としてこの長方形を折り返したところ，頂点 B は， $CF : FD = 1 : 2$ となる点 F に重なった。



正

(4)

下の図のような，長方形 ABCD がある。頂点 B がちょうど辺 CD 上に重なるように，線分 AE を折り目としてこの長方形を折り返したところ，頂点 B は， $CF : FD = 1 : 2$ となる点 F に重なった。このとき， $\triangle AEF$ の面積は，もとの長方形 ABCD の面積の何倍となるかを求めよ。

数学解答用紙

受験番号	氏名

※の欄には何も書かないこと。

1	(1)	(2)	※		
	11	$x = \frac{16}{7}, y = 6$			
	(3)	(4)			
	$\frac{5}{b}$	$x = \sqrt{3}, 2\sqrt{7}$			
	(5)				
$a = 13, 29$					
2	(1)	(2)	※		
	$\frac{13}{6}\pi$	$BD : DC = 2 : 3$			
	(3)	(4)			
	$\frac{8}{3}$	$\frac{3}{10}$ 倍			
	(5)				
ΔABF と ΔEDA において ΔFBC は正三角形だから $FB = BC \dots ①$ 四角形 $ABCD$ は長方形だから $BC = AD \dots ②$ $①, ②$ より $FB = AD \dots ③$		同様に ΔECD は正三角形だから $ED = CD \dots ④$ 四角形 $ABCD$ は長方形だから $AB = CD \dots ⑤$ $④, ⑤$ より $AB = ED \dots ⑥$ $\Delta ABF = \Delta ABC - \Delta FBC \dots ⑦$ $\Delta EDA = \Delta CDA - \Delta CDE \dots ⑧$		四角形 $ABCD$ は長方形だから $\angle ABC = \angle CDA = 90^\circ$ ΔFBC と ΔECD は正三角形だから $\angle FBC = \angle CDE = 60^\circ$ $\dots ⑦, ⑧$ より $\angle ABF = \angle EDA = 30^\circ \dots ⑨$ $③, ⑥, ⑨$ より 三角形の2組の辺と1組の角がそれぞれ等しいので $\Delta ABF \cong \Delta EDA$ よって対応する辺は等しいから $AF = AE$	
3	(1)	(2)	※		
	$a = -\frac{1}{2}$	$y = x - 4$			
	(3)	(4)			
$\Delta OAB : \Delta OCD = 4 : 5$		$y = \frac{33}{13}x + \frac{18}{13}$			
4	(1)	(2)		※	
	150				
	(2)				
	辺 DF, EF, CF				
	(3)	(4)	(5)		
$\frac{60}{13}$	$\frac{21600}{169}$	$\frac{9}{2}$			

※